

CCL (CLAIM Communication Library) ver1.0.0

リリースノート

本リリースノートは、CCL ver1.0.0 利用にあたっての概要などについて記載しています。
CCL をご利用の際は必ず目を通していただくようお願いいたします。

また、これらの内容はユーザのフィードバックを受けて更新されることがありますので、随時最新情報をご確認ください（最新情報は <http://www.medical-domain.com/> に掲載いたします）。

1. CCL について

CCL (以下、本ライブラリ) は、日医標準レセプトソフト (以下日レセ) との MML/CLAIM (※1) による通信手順にかかわる処理を抽象化・マクロ化し、オブジェクトとして提供します。
本ライブラリをプログラムに組み込むことにより、日レセとの連携をスピーディーに実現できます。
MML/CLAIM の詳細についての調査や学習は不要です。開発工数の削減に貢献します。
CCL ver1.0.0 が対応している規格は MML ver3.01、CLAIM ver2.1 です。

2. 動作環境

本ライブラリは、以下の OS で利用可能です。

- ・ Windows 2000 Professional
- ・ Windows XP Professional/HOME Edition
- ・ Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate
全て 32bit 版のみ (※2)

本ライブラリの利用環境では、.NET Framework のインストールが必須です。

- ・ .NET Framework 2.0 以上

3. 開発環境

本ライブラリは、以下の開発言語で利用可能です。

- ・ Microsoft VisualBasic 6.0
- ・ Microsoft C# 2005

4. サポート

CCL 製品パッケージにはライブラリ仕様書および、サンプルコードなどを収録しております。
本ライブラリの使用方法や、仕様に関してのお問い合わせは原則メールでのサポートとなります。

5. 導入相談 お問い合わせ

本ライブラリの導入相談、購入、動作環境の拡張 (Java 対応、ホスト側ライブラリ対応等)、開発コンサルティングなどの関するお問い合わせは下記メールアドレスまでお願いいたします。

- ・ contact@medical-domain.com

6. 著作権および免責

・ 著作権

本ライブラリ、および媒体を問わず、これに付随する全てのドキュメントに関する著作権は、メディカルドメイン株式会社に帰属しています。

・ 免責

本ライブラリの使用による事故、損害については一切の補償をおこないません。

(※1) MML/CLAIM は診療情報の標準形式として MedXML コンソーシアムから提案されている XML 仕様です。
仕様の詳細は MedXML コンソーシアムの Web サイト (<http://www.medxml.net/>) を参照してください。

(※2) Windows、Windows Vista は米国 Microsoft 社の米国及び他諸国における商標または登録商標です。
その他、記載の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。